

6. 住民等との連携(コミュニケーション)の推進

事業運営や経営状況等に対するPR

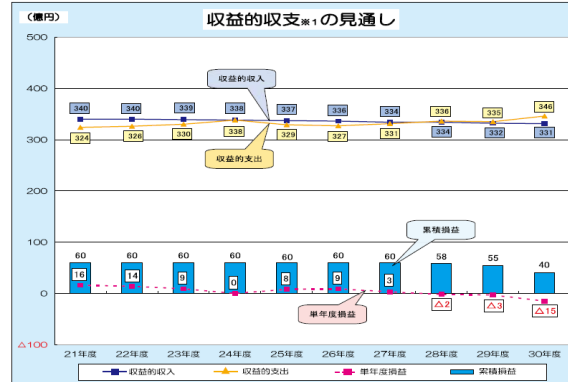
福岡市水道長期ビジョン



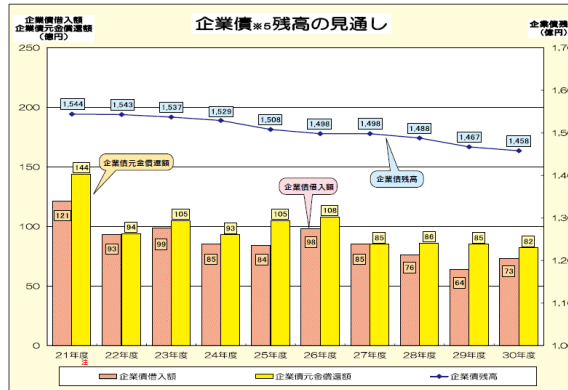
みなさまから信頼される
水道を目指して

平成21年2月
福岡市水道局

① 収益的収支の見通し



③ 企業債残高の見通し



出典：「福岡市水道局ホームページ」

老朽化した水道管の取替えが急務

安全で安定した水道を維持するために

柏市の水道は、昭和30年の給水開始から、徐々に給水区域を拡大し、特に昭和40年代後半の高度成長期の宅地開発により、急速に水道管を布設してきました。平成13年度現在の水道管の延長は、約1,800kmに達し、東京1都3県を合わせた総延長の約半分に相当しています。このうち、昭和40～50年代の宅地開発により布設してきた水道管は、石綿セメント管や強化コンクリート管が多く使われていました。これらの水道管は、老朽化が進み、漏水の危険性が高まっています。また、管径が小さいため、給水圧が低下し、水圧不足が生じている箇所も数多くあります。石綿セメント管は、有害物質を放出する恐れがあるため、早急な取替えが求められています。

石綿セメント管については、老朽化や強度の問題から優先的に取替えが進められています。約2,800kmある石綿セメント管は、すべてを22年度末まで解消できる見込みとなりました。

今後の見通し
これまでの年間12～15kmの更新ペースでは、2030年度までの更新が完了する見込みです。2030年度以降は、更新ペースを年間25km程度まで増やしていく必要があります。このための更新には、莫大な費用が必要となります。費用を抑えて更新を先延ばしすることは、老朽化が拡大する恐れがあります。

お問合わせ
業務または配水課

出典：「かしわ水道だより」(柏市水道部作成) (年2回発行)

事業運営や経営状況については、水道ビジョン等を通してホームページで公表している事業者が多いほか、広報誌を活用している事業者もある。